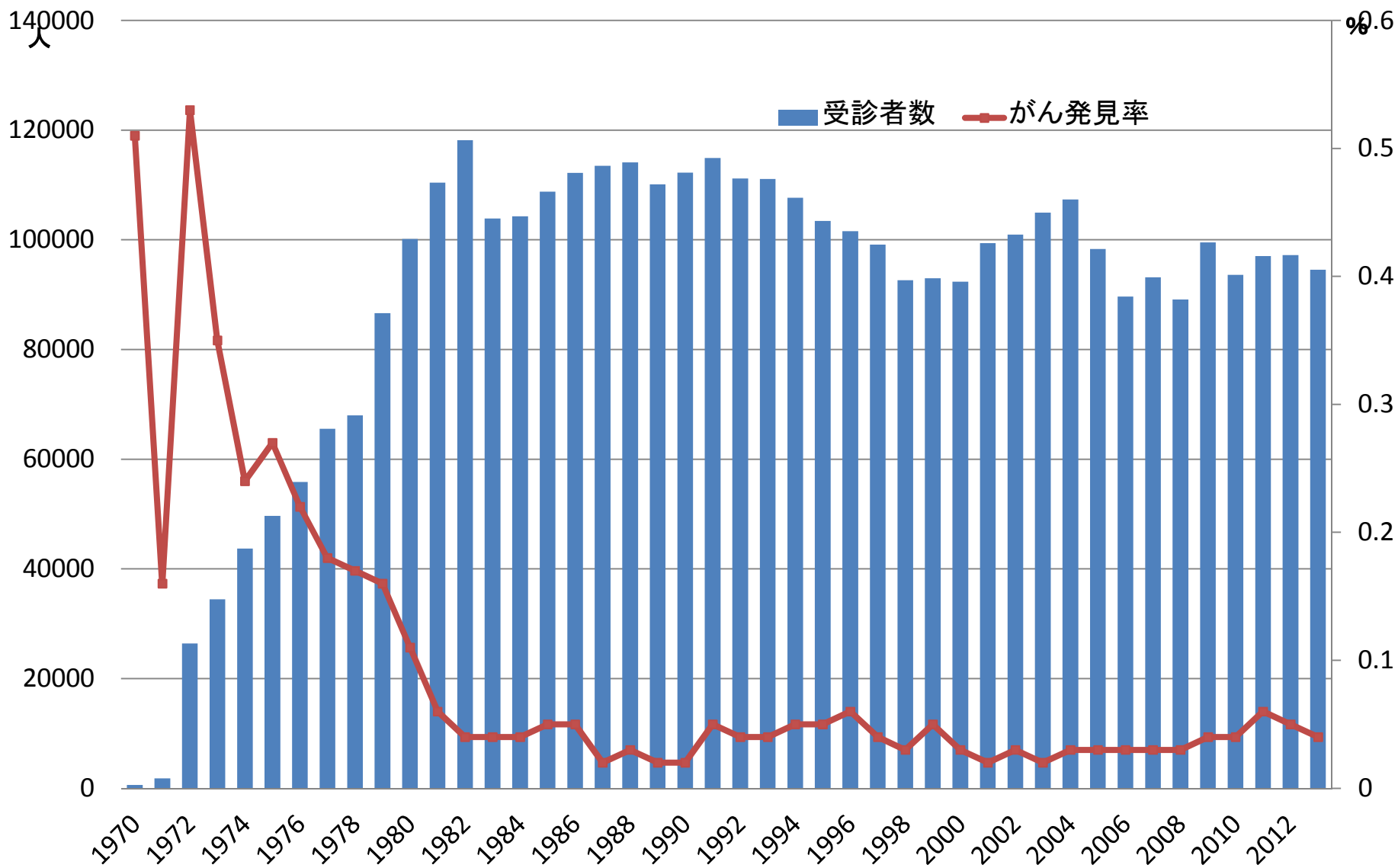


子宮頸がん集団検診における 併用検診の試み

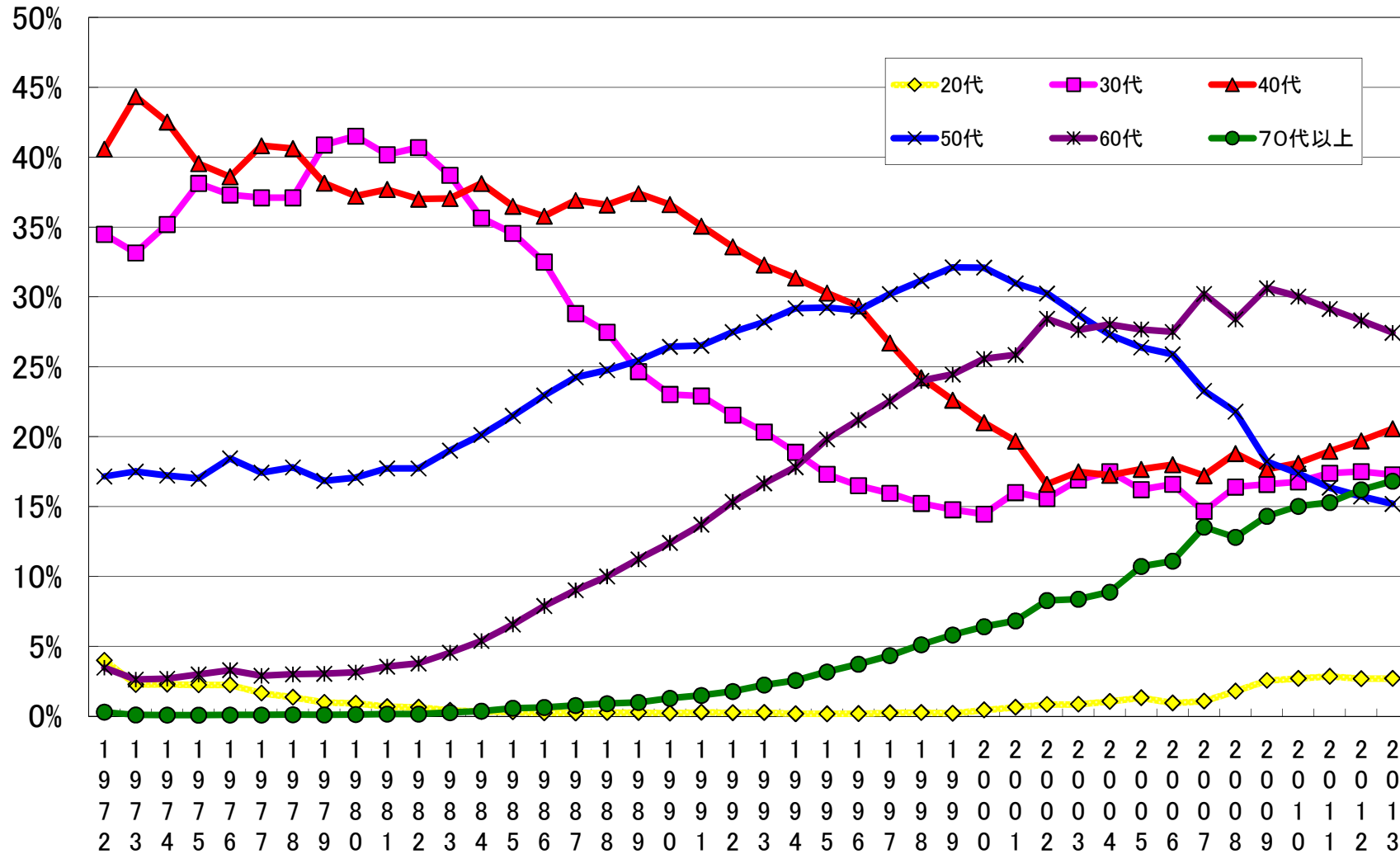
(公財)ちば県民保健予防財団
河西十九三

子宮頸がん集団検診年次推移(車検診方式)



総数 393,250人

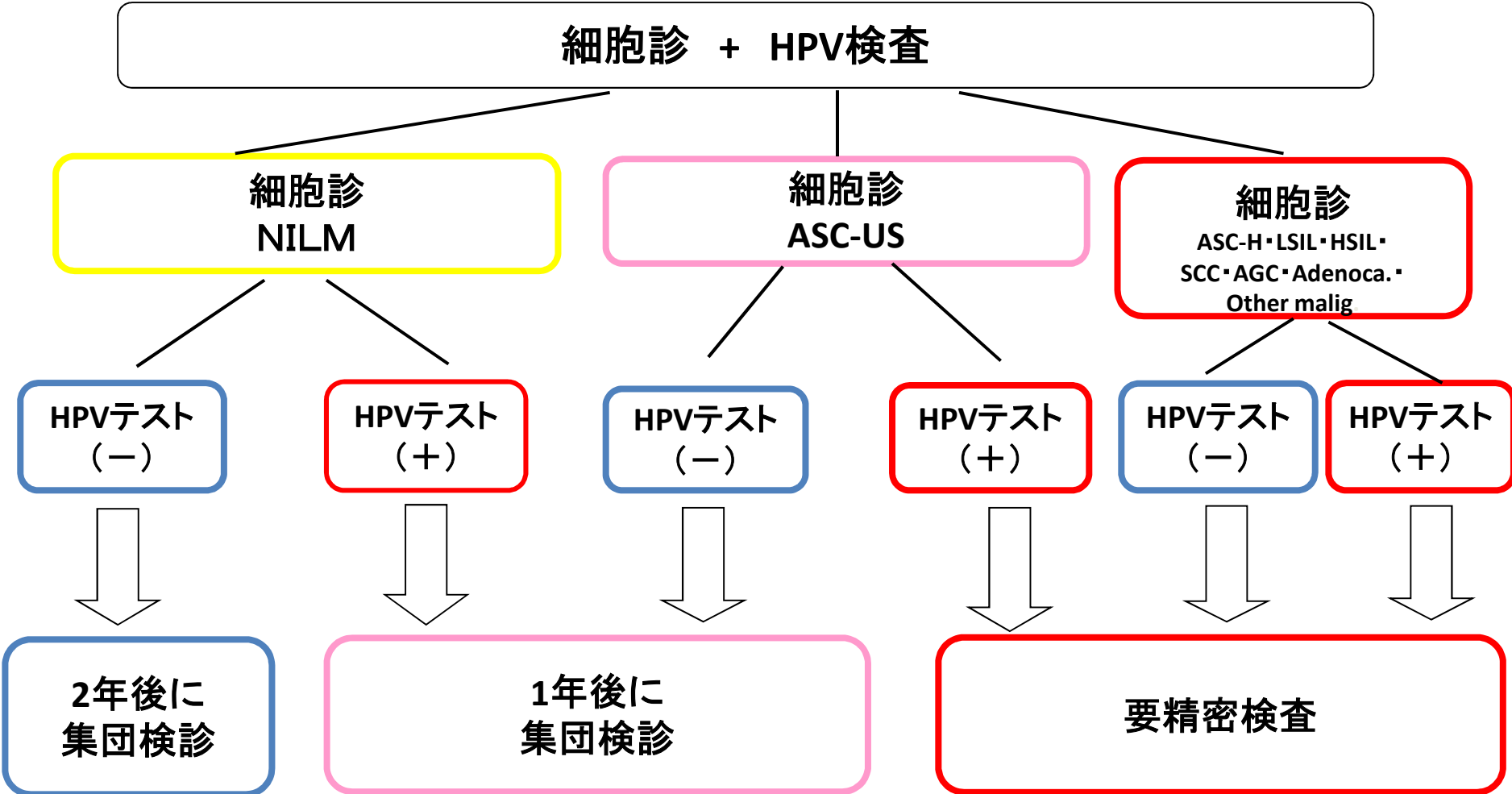
子宮頸がん集団検診年齢階級別年次推移(地域)



2013年度年齢階級別一次検診結果(48市町村)

	受診者数	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	Adeno	ASC-H+AGC	HSIL+AGC	AIS+HSIL	SCC+Adeno.	要精検者数合計	要精検率%
～29歳	2319	2212	44	9	33	21								107	4.6
～39歳	14794	14378	189	38	81	94	4	7	1			1	1	416	2.8
～49歳	17616	17275	156	35	61	75	4	8		1	1			341	1.9
～59歳	13014	12873	74	17	22	19	1	7	1					141	1.1
～69歳	23507	23361	64	37	12	22		7	3		1			146	0.6
70歳～	14408	14342	35	15	7	3	1	4	1					66	0.5
合計	85658	84441	562	151	216	234	10	33	6	1	2			1215	1.4
		98.60%	0.66%	0.20%	0.30%	0.30%	0.01%	0.04%	0.01%	0.001%	0.002%	0.001%	0.001%		

併用検診の方式



(各市町村により方針は異なります)

併用検診モデル事業実施人数

2012年4月～2014年6月

	2012年度	2013年度	2014年度	合計
A市	5310	4884		10194
B町	1152	232	1074	2458
C村	1581	411	1319	3311
合計	8043	5527	2393	15963

方法

細胞診

Sure Pathによる液状化検体法(LBC)

判定はベセスダシステム

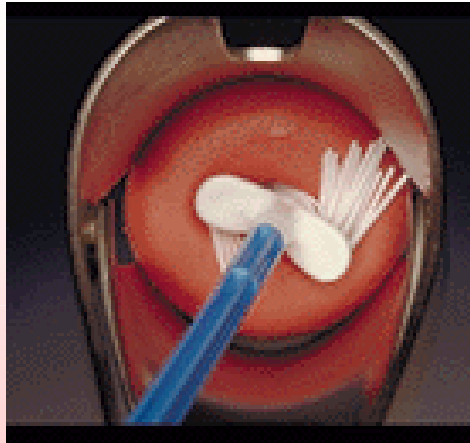
HPV検査

ハイブリッドキャプチャー法による

HPV-DNA検査

BDシュアパス™による細胞採取と提出法

1. 採取



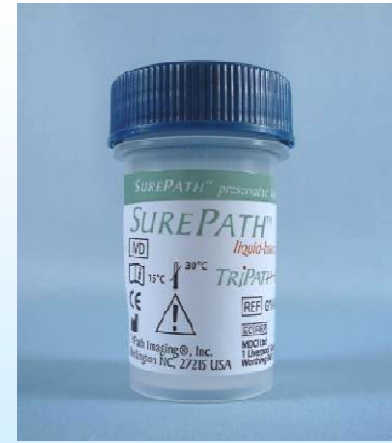
細胞を採取します

2. 回収



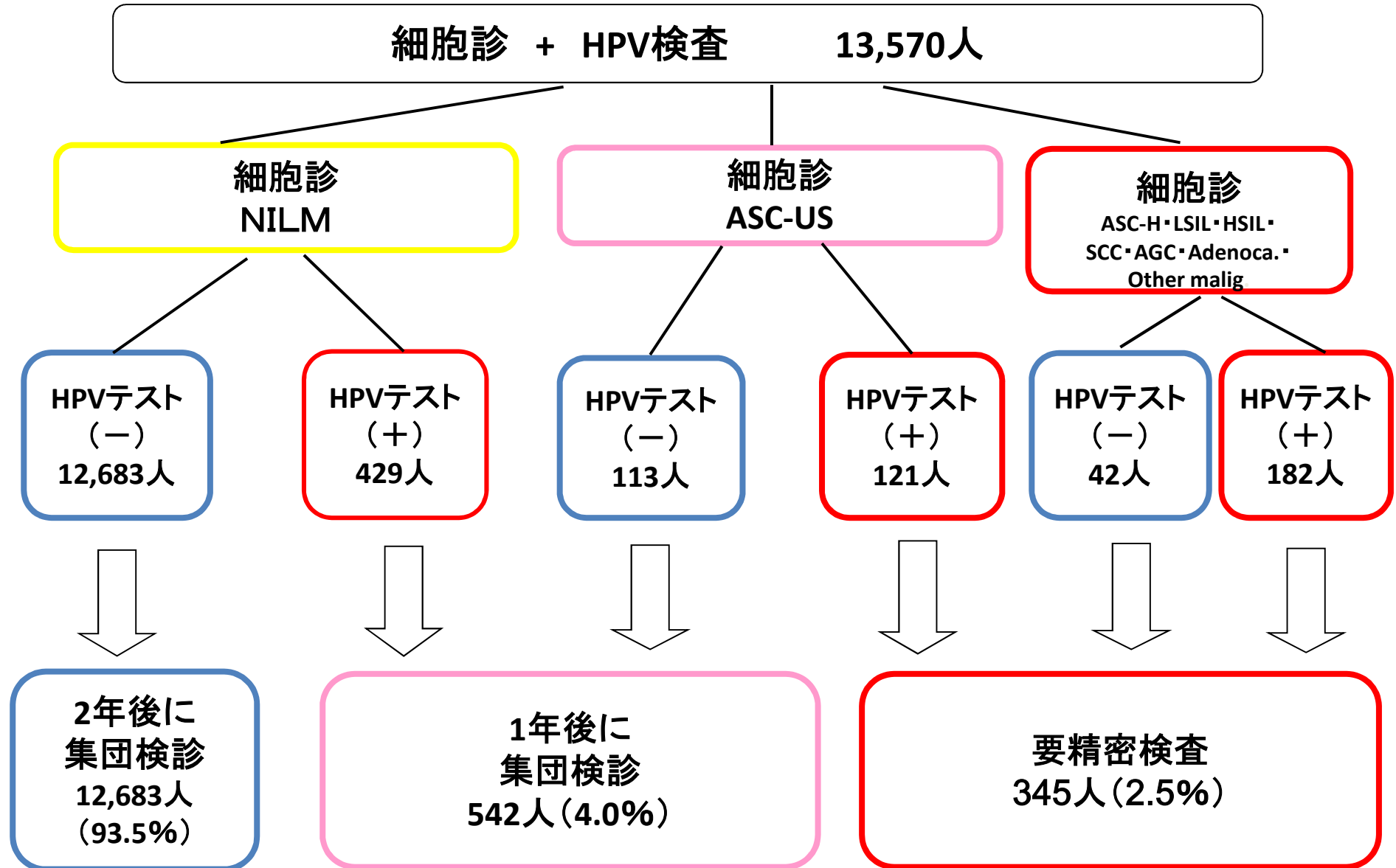
器具の先端を蓋ではさんで
引き落とします

3. 搬送

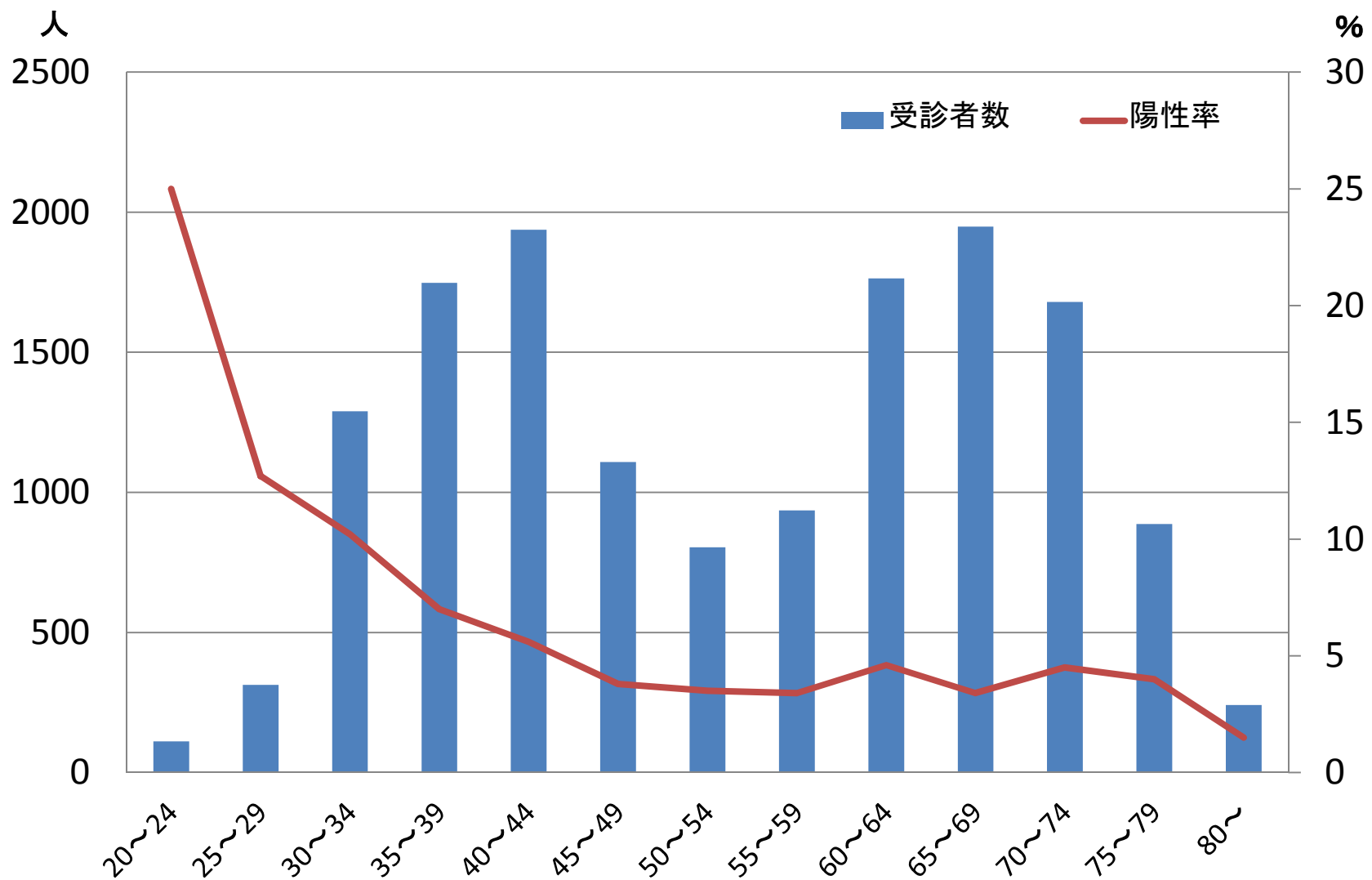


依頼書とともに検査
へ提出します

併用検診の方式(2012~2014年度 3市町村)



年齢階級別受診者数とHPV陽性率 (2012～2014年度3市町村)



過去5年間の要精検率とCIN2以上の発見率の比較

		従来法						併用検診			
		2007	2008	2009	2010	2011	5年間平均	2012	2013	2年間平均	
3 市 町 村	受診者数	7281	7396	8094	7914	8315	7800	8043	5914	6979	
	要精検者数	38	52	62	105	100	71	214	148	181	
	要精検率%	0.5	0.7	0.8	1.3	1.2	0.9	2.7	2.5	2.6	2.9倍
	CIN2以上の発見率%	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5	0.4	0.5	2.5倍
A 市	受診者数	5076	5078	5605	5356	5718	5367	5310	5269	5290	
	要精検者数	27	30	49	62	69	47	152	115	134	
	要精検率%	0.5	0.6	0.9	1.2	1.2	0.9	2.9	2.2	2.6	2.9倍
	CIN2以上の発見率%	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.3	0.4	2.0倍
B 町	受診者数	864	971	1083	1090	1082	1018	1152	134	693	
	要精検者数	5	13	8	20	14	12	23	11	17	
	要精検率%	0.6	1.3	0.7	1.8	1.3	1.2	2.0	4.7	3.4	2.8倍
	CIN2以上の発見率%	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4	0.3	0.5	0.9	0.7	2.3倍
C 村	受診者数	1341	1347	1406	1468	1515	1415	1581	411	996	
	要精検者数	6	9	5	23	17	12	39	21	30	
	要精検率%	0.4	0.7	0.4	1.6	1.1	0.8	2.5	5.1	3.8	4.8倍
	CIN2以上の発見率%	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.6	1.5	1.1	11倍

HPVテストの結果を加味しない結果(2012・2013年度3市町村)

	NILM		ASC-US		ASC-H		LSIL		HSIL		AGC	Ade no.	AIS+ HSIL
	HPV (-)	HPV (+)	HPV (-)	HPV (+)	HPV (-)	HPV (+)	HPV (-)	HPV (+)	HPV (-)	HPV (+)	HPV (-)	HPV (-)	HPV (+)
n	12677	473	122	86	19	22	17	57	3	91	2	1	2
%	93.4	3.5	0.9	0.6	0.1	0.2	0.1	0.4	0.02	0.7	0.01	0.01	0.01

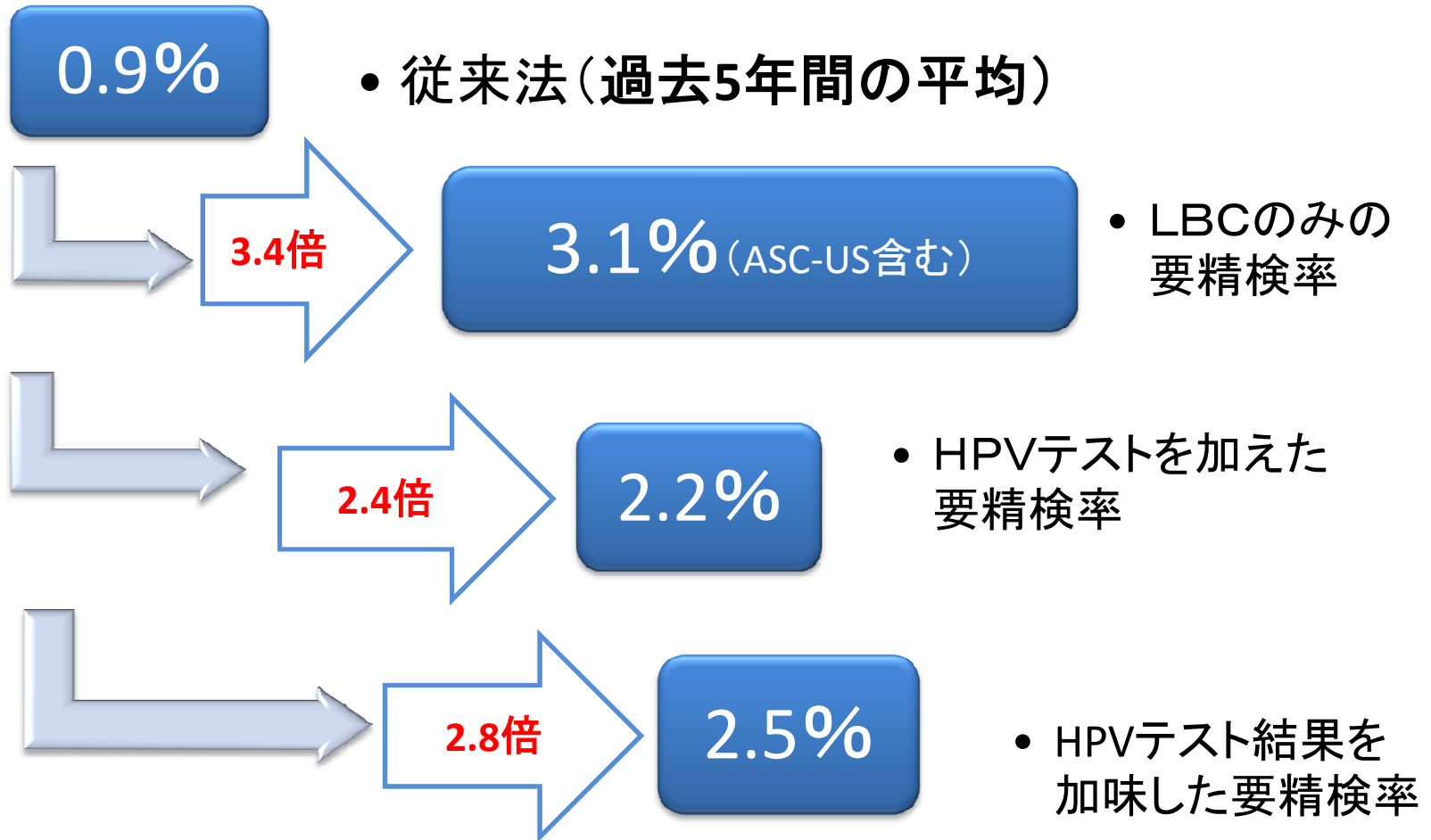
要精密検査 300例 要精検率 2.2%

HPVテストの結果を加味した結果

n	12677	428	122	121	19	29	17	59	3	92	2	1	2
%	93.4	3.1	0.9	0.9	0.1	0.2	0.1	0.4	0.02	0.7	0.01	0.01	0.01

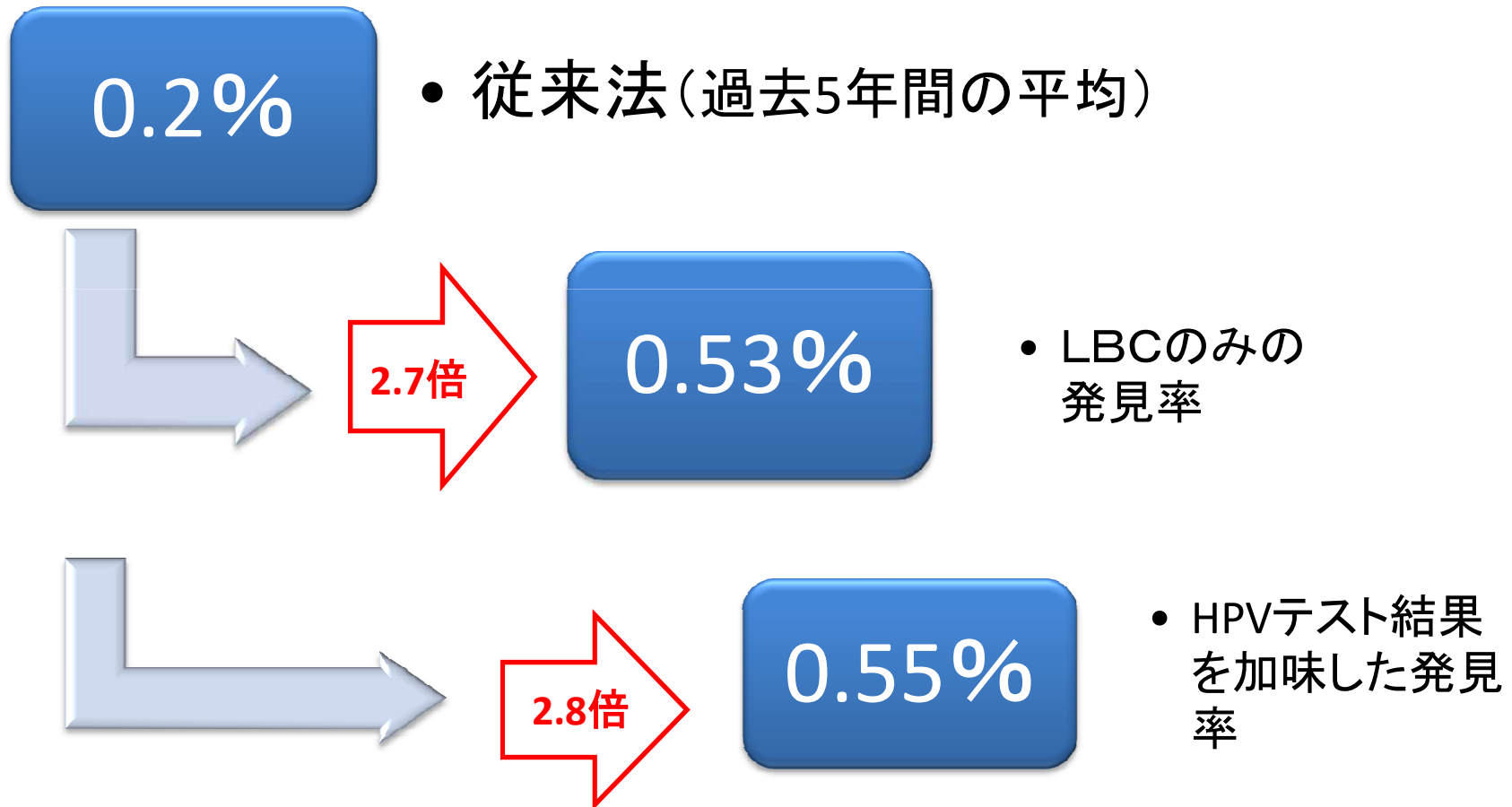
要精密検査 345例 要精検率 2.5%

〈 要精検率の推移 〉



(2012年・2013年度の3市町村の要精検率)

〈 CIN2以上の発見率 〉



(2012年・2013年度の3市町村の発見率)

初年両者陰性群で次年度要精検となった者の精検結果

細胞診	HPV テスト	n	異常なし	CIN1	合計
ASC-US	(+)	11	4	3	7
ASC-H	(-)	5	1(1)	1	2(1)
ASC-H	(+)	2	1	1	2
LSIL	(-)	2	2		2
LSIL	(+)	2	2		2
AGC	(-)	1	1		1
合計		23	11(1)	5	16(1)

()数字は細胞診のみ 結果不明6人

初年度両者陰性群で2年後要精検となった者の精検果

細胞診	HPV テスト	n	異常なし	異形成疑・CIN1	合計
ASC-US	(+)	6	2	3(1)	5(1)
ASC-H	(-)	2	2		2
LSIL	(+)	2		1(1)	1(1)
LSIL	(-)	1		1	1
HSIL	(+)	1		1	1
AGC	(-)	1	1		1
合計		13	5	6(2)	11(2)

()数字は細胞診のみ

細胞診のみの検診とHPV併用検診の費用の比較

20～24歳について3年間の検診費用を算出

➤ 細胞診のみの検診(3年間)

$$1,000人 \times 3,500円 \times 3年 = 10,500,000円$$

➤ 併用検診

1年目

$$1,000人 \times 7,280円 = 7,280,000円$$

2年目 HPV陽性率 25.0% から

$$250人 \times 7,280円 = 1,820,000円$$

3年目 HPV陽性者－(HPV陽性者×陰性化率66,7%)

$$83人 \times 7,280円 = 604,240円$$

$$3年間合計 \quad 9,704,240円$$

細胞診のみの検診とHPV併用検診の費用の比較

年齢階級別に3年間の検診費用を算出

➤ 細胞診のみの検診		10,500,000円
➤ 併用検診		
	20～24歳	9,704,240円
	25～29歳	8,510,320円
	30～34歳	8,364,720円
	⋮	⋮

今後の検討課題

- 1) 併用検診によって精度はどの程度向上するか？
- 2) 両者陰性群の検診間隔は？
- 3) HPVテストは何歳~何歳迄行ったら良いか？
- 4) 併用検診の場合は何歳で検診を終了出来るか？
- 5) 併用検診の費用対効果は？
- 6) HPVテストによって初期腺がんの発見率が向上するか？